

管理運営経費



(1) 利用料金等収入増及び経費縮減への取組

鶴見スポーツセンターの第4期収支計画策定にあたっては、多様化する市民ニーズを反映した、私たちならではの付加価値のあるサービス提供により、新たな収入源を確保してまいります。その収入増加見込み分を経費の財源に充当し、指定管理料を削減します。

ア ライフサイクルコスト縮減への取組

設備機器等の維持管理は、協力会社である鹿島建物総合管理とともに、ファシリティマネジメント体制を強化し、施設・設備の日常的な状態確認や、定期点検等の結果への対応、修繕の実施・記録などを通じて、鶴見スポーツセンターの長寿命化や省エネルギー化へ貢献します。

ファシリティマネジメントとは

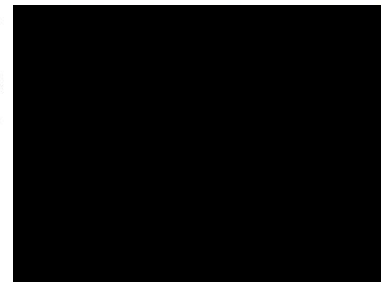
施設、設備の運用管理について、長期的視野と計画性を持って取り組み、かつ最適化を検討するマネジメント業務のことです。

※様式 13「施設管理」に詳しく記載しております

省エネへの取組事例

● 低炭素社会の実現に向けた”エコチューニング”の実践

私たちは、ファシリティマネジメントにおけるエコチューニングに取り組みます。エコチューニングは、エネルギー利用状況と使用機器を分析し、CO²排出量節減に適した機器の運転方法を計画・実践するもので、環境省がガイドラインを策定しています。私たちは、協力会社である鹿島建物総合管理監修のもと、エコチューニングに取り組み、運用改善を図ります



● 蓄積したメンテナンスデータを活用した効率的な運営

当団体では鹿島建物総合管理の「施設管理支援システム」を導入し、IT化された維持管理を行ってきました。このシステムは、設備機器点検や警備業務のほか、光熱水の使用量をデータ化するなど、建物の維持管理に関する情報を共有化・一元管理が可能です。各種情報から評価し、問題点を明らかにすることで、施設を効率的に管理し、ライフサイクルコストの縮減につなげます。

各種省エネサービスの提供

現場・省エネエキスパート・専門部署の連携体制構築、エネルギー分析・評価、法対応専用ツールの活用などの取組み体制を整えており、省エネルギー活動に関する多数の受賞・認定実績があります。

イ 経費縮減方策の実効性～公共スポーツ施設を多数管理する私たち独自の手法～

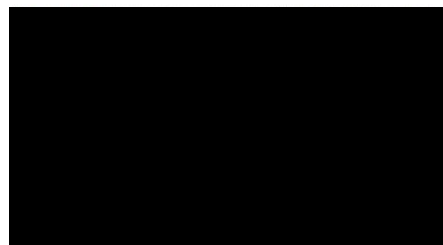
消耗品などの発注には、当団体が管理する施設一括（全35施設）で購入することで、コスト全般での縮減を実現しています。また、100万円以上の物品購入等は、競争入札を行うことで、より安価で適切な業者を選定し、経費縮減を図っています。

● 電力・ガスの入札

第4期に設置される空調設備により、電気代をいかに抑えられるかが、維持管理経費の縮減に大きく影響すると考えます。完全自由化した電力・ガス調達は、新電力会社（PPS）各社を含めて、入札可能な場合は入札を実施し、料金削減に努めます。

● ICT化による 経費縮減

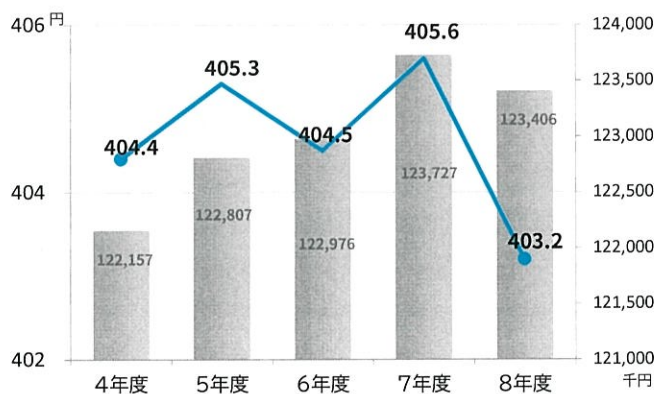
鶴見スポーツセンターと当団体の各事業所間に光回線を使用したインターネット電話を導入するほか、会議や打ち合わせは、オンライン会議システムを活用することで、通信費や交通費の経費縮減を図っています



オンライン会議

■ お客様1人あたりの経費の削減

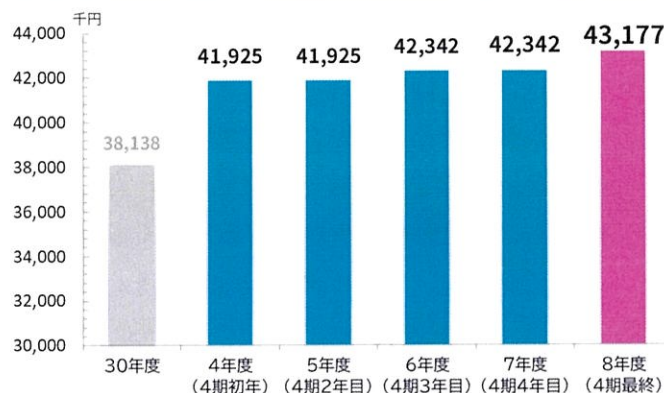
私たちは、第3期指定管理期間において様々な省エネルギーシステムを導入し、コスト削減に努めてきました。前述の取組を行うことで、お客様1人あたりの経費を削減します。安全な運営を前提としながら、効率的に運営する指標として1人あたりの経費予測を年間維持管理経費÷年間利用者数で算出し、令和8年度に向けて数値を削減していきます。



ウ 収入増加策の実効性（増収計画）

■ 新たに付加価値の高い教室を計画します！

私たちは、教室運営のPDCAマネジメントを徹底し、指定第3期は全ての施設で対前期増収となりました。教室事業は、新たにスポーツ医科学センター監修の健康教室など付加価値の高いプログラムや、子育て世代・働き世代などに向けたオンラインレッスンを増やし、平成30年度に比べ令和8年度には、約13%増収を計画します。



■ 教室事業収入 目標 ※託児収入含む 単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	41,925	41,925	42,342	42,342	43,177



■ 新たなヘルスプロモーション事業による収入増

私たちが得意とするスポーツ医科学に基づくヘルスケア分野の取組により、付加価値の高いサービスを提供する、実効性の高い収入増を提案いたします。

● 指定運動療法施設としてのサービス

第3期指定管理期間に実施した内科系・外科系運動療法に加え、新たに**特定保健指導**ができる体制を整えることで、自主事業収入を増収させます。



● 地域への派遣プログラム

福祉保健センターや地域ケアプラザと連携し、生活習慣病予防やコロナ禍でのフレイル予防講座等を実施することで自主事業収入を増収させます。積極的に区内公共施設運営者や地元企業との連携関係を築き、令和4年度から5年間で漸増させます。

■ヘルスプロモーション事業収入

単位：千円（税込）

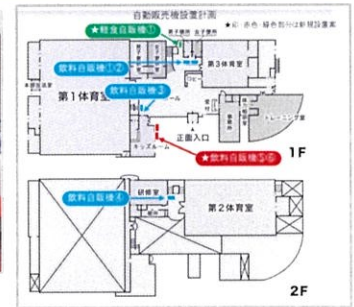
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	177	179	181	183	185

■ 自動販売機事業の収入増

館内の設置スペースの有効活用や飲料や氷菓、製菓等の時期にあった提供メニューを充実させ、自販機収入の増収を確保してまいります。**おむつ付きの子育て支援型自動販売機**を設置します。



体育室前の自販機



■自動販売機事業収入目標

単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	3,150	3,182	3,214	3,247	3,280

■ レンタル収入

市内他の当団体スポーツ施設にてご好評いただいているフットサルやバスケットボールなど各種目別ボールやビブスのレンタルのほか、シューズのレンタルについては、子ども用や大きいサイズの靴の貸出サービスを充実させ、増収を図ります。



■ レンタル商品一例

単位：円（税込）

レンタル物品		金額(円)	レンタル物品		金額(円)
卓球ラケット	シェイクハンド等	50/本	バドミントンラケット		100/本
バスケットボール	5・6・7号	50/球	バレーボール	4・5号	50/球
フットサルボール		50/球	ビブス	5枚 1組	100/組
電子ホイッスル		100/個	ハーフパンツ	S~LL	200/枚
体育館シューズ	子ども用~29.0cm	100/足	ストップウォッチ		100/個
ラジカセ	MD/CD使用可	200/個	コピー機使用料		10/枚

■ 市内 No.1 の売り上げ！鶴見スポーツセンターの物販事業

第3期指定管理では、スポーツ用品販売会社と提携し、スポーツウェア、シューズ、サプリメントなどの魅力的な商品を提供し、当団体が運営した市内**スポーツセンターで最高額を売り上げたのが鶴見スポーツセンター**です。第4期指定管理も、お客様のニーズにあった商品を販売し、収入を確保します。

■ 物販事業収入目標

単位：千円(税込)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	1,397	1,397	1,397	1,397	1,397

● 各種目のルール改正にも速やかに対応！

卓球ボールやバドミントンのシャトルを販売するほか、スポーツショップの店頭では手に入りにくい**ヨコハマさわやかスポーツ種目のインディアカの羽根球**などを販売し、ご好評いただいております。各種目のルール改正にも速やかに対応し、お客様に喜ばれています。

■ 物品販売一例

単位：円(税込)

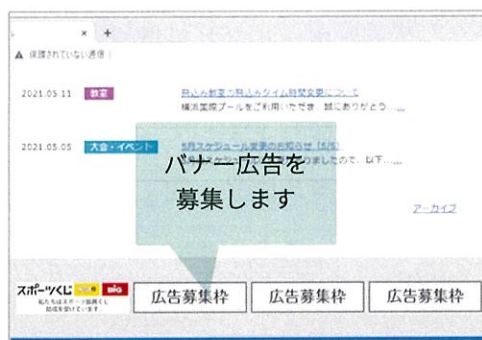
	販売物品	金額(円)
バドミントン	シャトル(練習用)	340/打
バドミントン	シャトル(試合用)	390/打
卓球	プラスチックボール(試合用)	380/個
ダンス	ヒールカバー	100/個
インディアカ	羽根球	2,500/個
インディアカ	スペア羽根球	900/個
トレーニング用品	セラバンド 2m	1,900/個
トレーニング用品	ミニジムボール直径 26cm	1,050/個
はまちゃん体操	DVD、CD、テキスト	1,800/本～
介護予防テキストブック		1,800/冊
ウェア・シューズ		販売品による
サプリメント	プロテインなど栄養補助食品	販売品による



■ 広告事業収入の確保

地元企業を中心に営業を行い、広告主を確保します。鶴見スポーツセンターでの広告が、有効な広告手段であることが広まるよう、スポンサー企業と情報交換を行い、多くの企業に出稿していただきます。

掲載する媒体は、ホームページやチラシ、自動販売機、玄関マット、施設の壁面、床面等を想定し、広告主決定前にはその内容を含め鶴見区役所と協議します。



(2) 施設の課題等に応じた費用配分

ア 事業収支計画の考え方

鶴見スポーツセンターの第4期収支計画策定にあたっては、**付加価値のあるサービス提供により、新たな収入源を確保**してまいります。一方、支出計画は、老朽化が進む施設の安全を確保するために必要な経費を、**過去10年の実績データをもとに積算**し、無理のない計画としています。

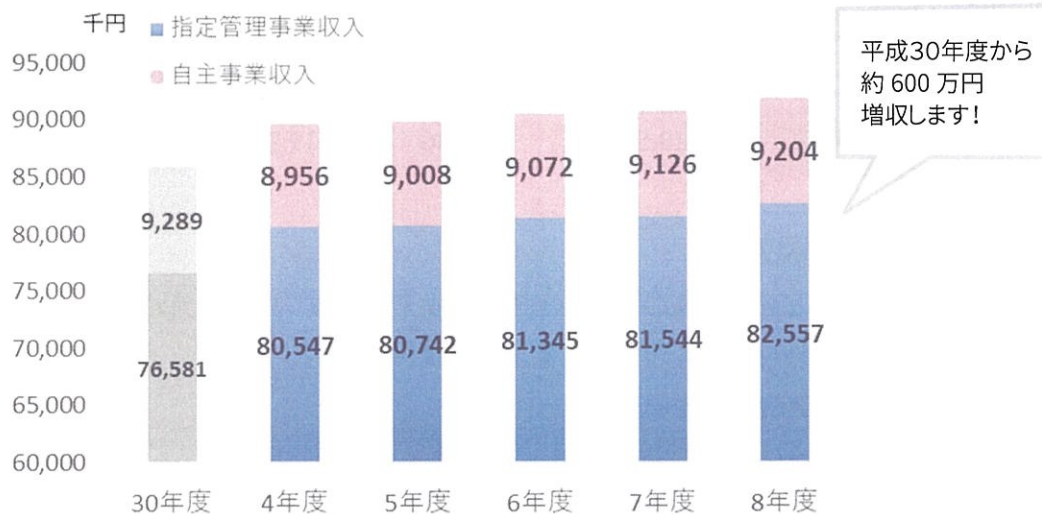
■ 収支計画の基礎となる目標

収入計画の積算根拠の基礎となる収入目標は、平成30年度の利用実績等を基準とし、次の通り積算します。

■ 鶴見スポーツセンター収入予算の特徴

1. 働き世代・子育て世代が気軽に参加できる教室設計による収入増を図ります
2. 指定運動療法施設としての付加価値の高いヘルスプロモーションにより収入増を目指します
3. ロビーやキッズルームの有効活用や施設外活動を積極的に展開し、スポーツセンターへの集客を見込みます

■ 指定管理料を除く収入額の推移



イ【収入の部】収入源の確保

■ 指定管理事業収入

● 団体利用料金収入（施設利用料金収入）

各室の団体利用（指定管理者主催のスポーツ教室を含む）による利用料金収入の算定方法は、平成30年度の実績を基礎資料とし、諸室ごとに積算します。

■ 【団体利用料金収入（体育室・研修室）】収入見込み推移表

単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	9,643	9,643	9,643	9,643	9,643

利用料金収入 = [利用可能コマ数] × [団体利用稼働率] × [利用単価] × [実収入率]

([実収入率] = 減免利用を含んだ実収入割合) ※千円未満切捨

● 付帯設備利用料金収入（施設利用料金収入）

付帯設備利用料金収入は、放送設備等などの貸館業務に伴う収入は、5年間の実績に基づき積算しています。また、レンタルロッカー収入については、平成30年度の契約数を反映して積算しています。

■ 付帯設備利用料金収入見込み推移表 ※レンタルロッカー収入含む 単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	1,001	1,001	1,001	1,001	1,001

● 個人利用料金収入（施設利用料金収入）

体育室個人利用は、第3期と同等のコマ設定を予定しており、平成30年度実績の収入同額を見込みます。なお、大人、中学生以下、土曜無料開放と様々な利用料金形態も反映しています。

■ 個人利用料金収入見込み推移表 ※トレーニング室個人利用収入含む 単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	21,903	22,098	22,296	22,495	22,697

トレーニング室は、**第4期初年度に実施するマシンリニューアルにより、増収を図ります。**平成29年度リニューアル時の増加率を参考に、毎年増加させていきます。

■ トレーニング室個人利用収入見込み推移表 単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	19,561	19,756	19,954	20,153	20,355

● 駐車場事業収入

第3期の実績と周辺環境の変化を考慮し、以下のとおり収入を見込みます。収益は、当駐車場の維持管理経費や外灯設置に充当し、安定的な運営に貢献します。

■ 駐車場事業収入見込み推移表 単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	7,176	7,176	7,176	7,176	7,176

■ 自主事業収入

● 時間外利用料金収入

金曜日（祝日の場合は除く）の21時から23時までの1コマ（2時間）と、土曜日・日曜日・祝祭日の7時30分から9時までの1コマ（1時間30分）の**開館時間を延長**、12月28・29日、1月4日の9時から17時と**年末年始の開館日拡大**し、これによる施設利用収入を見込みます。なお、算出方法は、指定管理事業の団体利用収入と同様とします。

■ 時間外利用料金収入見込み推移表 単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	1,767	1,785	1,803	1,822	1,841

ウ【支出の部】安全性・効率性を重視した支出計画

■ 安全で快適なご利用空間を創出するための支出計画

● 安全と快適性を両立する修繕計画

築 30 年以上経過する鶴見スポーツセンターにおいて、市民の方がいつまでも当館を安全に、安心してご利用いただけるよう、老朽設備等の修繕を計画的に行います。ご利用時の安全対策・環境改善に係る案件を中心に、修繕計画を策定し、確実に実施していきます。

■ 第 4 期指定管理期間の修繕計画

(千円・税込)

	実施内容	概算額
令和4年度	駐車場入口拡張工事、その他小破修繕	6,050
令和5年度	第3体育室ポリウレタン、その他小破修繕	6,050
令和6年度	消防設備改修工事、その他小破修繕	6,050
令和7年度	劣化診断にもとづく修繕、その他小破修繕	6,050
令和8年度	劣化診断にもとづく修繕、その他小破修繕	6,050

● 新たな施設設備の設置による支出

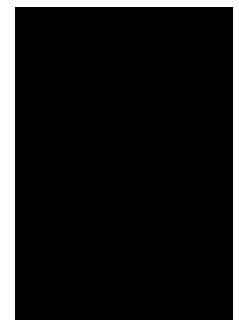
トレーニングマシンやバリアフリー卓球台への更新、更衣室ロッカーの入れ替えなど、お客様の利便性向上にかかわる設備や備品には、特に積極的に投資してまいります。



● トレーニング室リニューアル！

～自分のからだを知る・メンテナンスする～

働き世代や女性の運動不足解消、スポーツ無関心層への誘因策として、トレーニング室をリニューアルし、有酸素系マシンは初心者・女性でも扱いやすい機器にリニューアルします。



● 教室事業に伴う支出（インストラクターへの報償費）

スポーツ教室やイベントで講師を依頼する場合は『教室実施マニュアル』に基づく報償費を決定し、支払います。支払いにあたっては所得税法に従い、所定の所得税を源泉徴収します。また、教室に使用した室場利用料は、指定管理事業収入付け替えることで、適切な経理処理を行います。

■ 消費税増税への対応

平成 30 年 10 月の消費税増税に伴い、スポーツセンターの講師の報償費に対し、増税分 2% を適切に転嫁しました。今後、消費税が増税される場合は、「消費税転嫁対策特別措置法」などの法令順守に努めてまいります。



● 記念イベント実施に伴う支出（その他支出）

令和5年に「鶴見スポーツセンター開館 35 周年記念イベント」を開催し、事業に伴う運営経費を計上します。なお、実施にあたっては、鶴見区内の企業等から協賛金を募り経費に充当します。また、当該事業により室場を使用した場合は、記念イベント事業運営経費から使用した室場利用料金を付け替え、適切な経理処理を行います。また、鶴見区体育協会の賛助会員として賛助会費を支出します。

● 自主事業実施に伴う目的外使用料の支出

飲食用自動販売機設置や、物販・レンタル事業等の自主事業実施にあたっては、鶴見区役所に対し、同区が定める規定に則した目的外使用料を支払います。

■ 維持管理運営費用（指定管理事業支出）

項目	内容	金額(税込) / 令和6年度(3年目)
人件費	所長 1 名・副所長 1 名のほか、職員 3 名を配置します。(計 5 名)また、業務をサポートするためのアルバイト職員を適時に配置します。	47,188 千円 ・職員(給料・職員手当・共済費・給付費・退職給付費) ・アルバイト(賃金)
修繕費	施設設備の老朽化に対応するために、年間 550 千円(税別)以上の修繕費を計上します。	6,050 千円 ・駐車場入口拡張工事、第 3 体育室ポリウレタン塗装等
設備管理費	施設設備の維持保全を図り、安全な運営を継続させるための費用を計上します。 また、年度当初に「施設劣化調査」を行います。	6,674 千円 ・施設巡回点検等 ・フロン排出抑制法簡易点検 ・空調メンテナンス費
保安警備費	施設に係る防犯や安全確保のための警備費用を計上	990 千円 機械警備、夜間巡回警備
外構植栽管理費	施設敷地内の樹木剪定や除草、薬剤散布、施肥などを行い、樹木の良好な維持と美観を保ちます。また、指定管理期間中 2 回高木剪定を実施します。	660 千円 ※高木剪定を行う年は、1,794 千円
備品購入費	お客様の利用頻度と備品の状態を勘案し、更新の必要性が高いものを優先して購入します。 予算は 5 年間の計画にあわせて増減させます。	628 千円
消耗品費	衛生用品、印刷用紙、コピー機トナー等を購入します。 スポーツ教室で使用するバドミントンシャトル、卓球ボールなどを購入します。	3,365 千円
廃棄物処理費	「市役所ごみゼロルート回収」にかかる費用と大型ゴミの処分費用を見込み、計上します。	179 千円
広報・印刷製本費	施設PR・地域に密着した広報媒体を活用します。 鶴見スポーツセンター施設案内リーフレットを作成	2,187 千円 ホームページ、タウン誌広告、リーフレット 等
光熱水費・燃料費	電気代の大規模入札による費用圧縮を見込みつつ、空調設置に伴う電気代増加分を反映しています。	10,249 千円 ・電気料、ガス料、水道料 ・燃料費(自家発電装置燃料用)
保険料	施設において管理者側の瑕疵による事故等が発生した場合に備え、賠償責任保険に加入します。 また、スポーツ教室等参加者における万が一の事故発生に備え、傷害保険に加入します。	1,682 千円(非課税) ・施設賠償責任保険 ・スポーツ教室等傷害保険



項目	内容	金額(税込)／令和6年度(3年目)
使用料・賃借料	駐車場の管制機器や券売機等の事務機器のリースやレンタルのための費用を計上します。 また、スポーツ教室等で施設を利用した場合に付け替える利用料金を計上します。	7,724 千円 ・リース(駐車場機器、券売機、トレーニング機器) ・NHK 放送受信料 ・スポーツ教室等での施設利用料金 等
委託料	收受した利用料金を安全に取り扱うための専門業者への委託や、バスケットボールゴールの安全点検を年 1 回実施し、施設の適切な状態把握に努めます。	4,350 千円 ・現金集配金業務委託 ・バスケットボールゴール安全点検 等
報償費	スポーツ教室講師や託児従事者へ支払う謝金を計上します。	17,313 千円 ・教室等指導謝金 ・託児従事者謝金
支払手数料	各種支払いにかかる振込手数料のほか、初年度から実施するキャッシュレス決済手数料を計上します。	1,021 千円
公租公課費	契約書締結に係る収入印紙代や、事業所税を計上します	300 千円 ・収入印紙 ・事業所税
その他	通信運搬費、会費、旅費等の必要経費を計上します。	12,416 千円 通信運搬費、会費、旅費、本部経費 仮受消費税と仮払消費税との差額 等

■ 自主事業支出

項目	内容	金額(税込)／令和6年度(3年目)
自動販売機事業	飲食用自動販売機の設置に伴う区への目的外使用料や、当該に係る電気料を計上	249 千円 使用料及び賃借料、電気料
物販事業	スポーツ用品販売における仕入れ代を計上	1,048 千円 ・消耗品費
レンタル事業	レンタル用品の補充、リプレイス	104 千円 ・消耗品費
ヘルスプロモーション事業	運動療法、地域派遣指導にかかる経費を計上	181 千円 ・旅費交通費
基本時間外管理費	基本時間外で雇用するアルバイト職員の賃金や、当該時間に係る電気料を計上	2,020 千円 ・賃金 ・電気料・水道料・ガス料 等
スポーツ教室等事業費(基本開館時間外)	基本時間外スポーツ教室の運営費用を計上	571 千円 ・使用料及び賃借料 ・保険料 ・報償費 ほか

(3) 適正な委託・調達・雇用

ア 委託費用縮減の取組

業務委託の契約期間は原則1年としますが、継続的な契約でスケールメリットが生まれる場合は、指定管理期間を限度とした長期契約とすることで、契約金額と事務コストを縮減します。また、委託・調達先の選定は、横浜市中心企業振興基本条例を踏まえながら、原則、競争入札を実施します。

イ 適正な業者選定

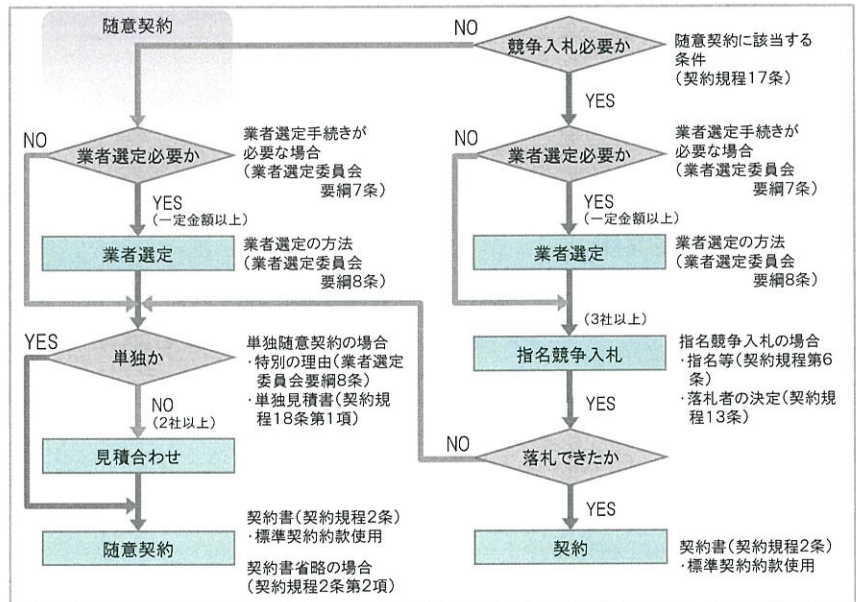
当団体の契約規程に基づき、指名競争入札等により契約を行います。事業者の指名は、公正かつ適正な選定を行うために、ラインから独立した業者選定委員会に付議し決定します。

一定の金額未満の契約では、事務効率化の観点から、複数社の見積り合わせを行う等厳正な選定を行います。

契約において違反行為、社会的に不正な行為を行った業者に対しては、「指名停止措置要綱」に基づき指名停止とし、適正な契約環境を確保します。



業者選定委員会調書

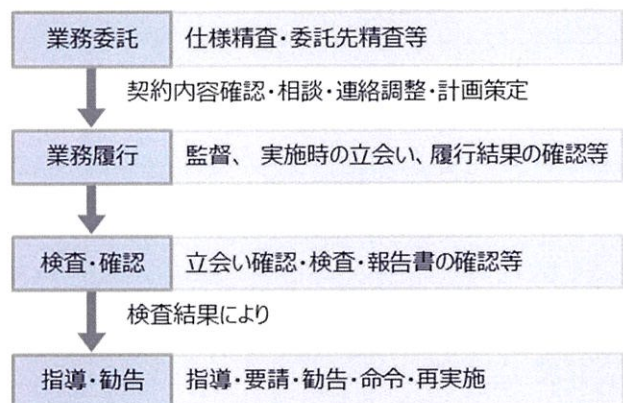


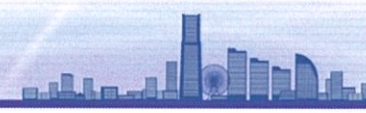
ウ 委託先の監理体制

各業者の受託業務に関しては、職員が適正な監督管理を行います。業務履行時には必ず担当者が立会い、施設を利用しているお客様に対する配慮を図りつつ、業務品質の維持に万全を期します。

● 不都合事象への改善システム

当団体では、請負工事等の業務委託に関する「監督事務要綱」を定めており、所長をはじめとする所属職員は、修繕や改修工事など履行内容の検査・確認を行います。万が一、不都合事象があれば、当該要綱に従い、指導・要請・勧告命令などを行います。





● 委託先の法令遵守・人権尊重の確認徹底

委託先において、労働関係法の遵守や待遇教育が徹底されているかを契約締結時に確認しています。特に、法定義務が課されている最低賃金や社会保険関係のチェックのほかに、定期的な業務を委託する業者に対しては、人権擁護及び個人情報保護に関する研修記録を提出してもらうことで、公共サービス従事者としてのお客様対応を徹底します。

エ 市内中小企業の活用・地域活性化への貢献について

消耗品等の購入は、「横浜市中小企業振興基本条例」の趣旨を踏まえ、横浜市内に拠点を置く中小企業事業者からの調達を第一に考え、横浜市の経済活性化に貢献いたします。

● 鶴見区にお住まいの方を積極的に雇用します！

アルバイト採用は、私たちは地域に根差した運営を実現するために、紙媒体の求人広告の場合は鶴見区エリアを中心に配布されるものを選択し、鶴見区在住者を積極的に雇用します。

● 福祉団体等からの優先調達への取組

私たちは、「障害者優先調達推進法」や「横浜市における障害者就労施設からの物品等の調達方針」に則り、障がい者団体・就労施設から優先的・積極的に物品等を購入しています。鶴見スポーツセンターでは、当団体のネットワークを生かして、知的障害者の団体からの物品購入や点字作業、また、各種イベントの参加賞作成を依頼するなど、障がい者の経済的な自立を支援します。

オ 業務委託内容と見込金額

各種施設設備保守管理や樹木剪定、保安警備などの高い専門性を有する業務は、公共スポーツ施設の設備管理実績が豊富な鹿島建物総合管理株式会社に委託します。これにより、設備等の不具合が発生した場合の対応窓口を一本化するほか、24 時間監視体制が可能となり、一元管理による鶴見スポーツセンターの状態確認の最適化とスケールメリット等を生かすことができます。

■ 主な委託業務計画と見込金額

委託する業務項目	業務内容	発注先の選定要領等	概算金額 (税込)
建物保守管理業務	月1回の施設設備全般の点検、設備情報管理	協力会社	1,259,000
施設設備定期点検業務	建物巡視点検	協力会社	3,523,000
清掃業務	床面、ガラス面、シャワー室等壁面、網戸等	協力会社	1,051,000
保安警備	夜間警備等	協力会社	990,000
植栽管理業務	剪定、除草、刈込、薬剤散布、施肥(中・高木剪定令和5・7年度)	協力会社	1,794,000
害虫防除	生息調査、防除処置	協力会社	231,000
バスケットボールゴール点検	機能状態、駆動関係の点検	製造メーカー(または正式代理店)	256,000
廃棄物処理業務	横浜市ルート回収	※横浜市ルート回収による	220,000
現金集配金業務	現金入金機保守、集配金業務	設置・集配業者	426,000
その他	システム保守など		3,229,000

※金額については、実際の業務仕様に基づいて改めて見積徴収を行うため、変更する場合があります。

● 指定管理者として適正な業務委託経費

有資格者による機器の法定点検など専門業務以外は、日常的な小破修繕や職員の業務内製化を図り、業者に丸投げをすることなく、委託料を**指定管理事業維持管理経費の50%以内**に抑えます。

(4) 指定管理料の額

当団体が提案する鶴見スポーツセンター第4期指定管理料は、第3期指定管理期間よりも縮減させるものの、老朽化への対応を含めた設備メンテナンス費、修繕費、備品購入費などを確実に工面できる額としています。また、新たな収入源を確保による収入増加見込み分（自主事業還元収入）を管理経費に計上することで、前述の支出予算を確保していきます。

■ 第4期指定管理料の推移

